

楽しみながら、仮説、実験、納得!

子供達は自分の感覚を使って繰り返し体験する中で、仮説、実験、納得をしながら、ものごとを学んでいきます。

教えて!マサミ先生!!『期待通りになる』という快い安心

おもつが濡れて不快になると、必ずおもつを取り替えてきれいにしてくれる人がいて、お腹がすいて泣くと、必ず授乳してくれる人がいる。そこにある顔がいつも同じで、「不快」を「快」にいつも同じように導いてくれる。この「同じ」お世話の繰り返しにより乳児は「期待」を覚えます。この「期待」が「繰り返し遊び」の原点です。姿勢や手指の発達が進むと、「積木を重ねる-崩れる」「叩く-動く・音が出る」といったチャレンジタイプの繰り返し遊びが始まり、期待通りになるという喜びを、子どもは満足するまで繰り返します。

0歳のおもつ替えから、およそ2歳のチャレンジタイプの繰り返し遊びへの変遷は、「期待通りになる」という快い安心を、他者に与えてもらうことから自分で得るものへの変換過程。この心の自立過程に傍らにいる大人が楽しく寄り添ってあげるといいですね。

七木田方美 先生

比治山大学短期大学部幼児教育科 教授 / 研究分野は、乳幼児保健学(感覚の発達・アタッチメント・障がい児保育)、保育等に関する著書・研究多数



先輩パママの アドバイス



同じ絵本ばかり読み聞かせるのは飽きてしまいます。どうしたらいいですか?



Aさん

子供のお気に入りのシーンを
見つけながら読んでみよう。



Bさん

スキンシップを楽しみながら、
主人公になりきらせてあげる
のもいいかも。



Cさん

目を離したすきにティッシュが全部
出されています!どうすればいいの?

納得するまでやらせてあげる。
そして、できるだけ残り少ない
ティッシュを置く!



Dさん

ハンカチを折って代用して
ましたよ。



お家での子育てと教育をサポートします /
子育てのコツなどを見よう!

親子コミ ひろしま

検索



広島県の取組や家庭での過ごし方を掲載!

子育て・家庭教育 広島

検索



いろいろな場面をテーマに遊びや生活の中に
遊びがあることをお伝えしていきます。



「遊び」のなかに 「学び」がいっぱい!

毎日同じ遊びばかりで
楽しいのかな?



子供にとって 遊びや日々の生活の 全てが学びです!

「遊び」は子供にとって探究の宝庫。遊びの中で、発見すること、体を動かすこと、創造すること、失敗を乗り越えること、人と関わることが、主体的に学び続けることにつながります。



繰り返し遊びにも 「学び」がいっぱい!

『何これ! おもしろい! ふしぎだね!』

たのしい~!!

ひっぱると
出てくる!

わーい!!



どんどん出てきて
楽しいね!
おもしろいね!

もったいない!
ダメだって教えないと
いけないのでは...



おおむね
0歳
9か月頃

ティッシュを引っ張ると出てくる。また引っ張ると出てくる。
何これ! 楽しい! を繰り返ししながら、いろいろな発見をしているの
かもしれませんね。

感じる・
気付く
力

うごく
力

やりぬく
力

『好奇心がいっぱいなんだね』

いっぱい
出そう!

またたくさん
出したなあ(T-T)

たくさん出せたね!
ママは入れちゃうよ!

あっ、
あれもいい!

シーン2
箱のおもちゃを
全部出しちゃえ!

やりぬく
力

感じる・
気付く
力

うごく
力

考える
力

キャッ! キャッ!

おおむね
1歳頃

同じことを繰り返しているように見えるけれど、
子供にとってはドキドキのチャレンジかもしれません。
ゆっくり見守ってあげると子供の心は満たされていくでしょう。

シーン3
どんどん出てくる
トイレトペーパー

レバーをひけば
いっぱい
お水が出てくる!

トイレトペーパーが
どんどん出てくる

おおむね
2歳頃

繰り返し遊びは、物事には
仕組みがあるということに気づく
芽生えにつながる遊びです。

『気に入った絵本を
繰り返し読んでもらう』

もう1回!

またこの本
読みたいのね!

お気に入り
番外編
「もう1回!」

お気に入りの絵本を

おおむね
0歳頃

好きな絵本を繰り返し読む中で想像をふくらませ、絵本の世界の中に引き込まれて
いきます。「もう1回!」という言葉に、子供の「この本大好き!」「もっと知りたい」
というその絵本への興味関心が詰まっています。

ポイント!



子供は同じことを繰り返すことで、「こうすると、こうなる」という仕組みがあることを理解すると同時に、大人の見守りによって「やってもいいんだ」という安心感も得ています。

子供にとっては安心感や好奇心に繋がっています。

好奇心を育てよう!

自分がやってみると何かが反応する、という体験は、「なぜ?」「もっとやってみよう!」という好奇心の原動力になります。